

## 防火の誓いを 込めて



雪が降りしきる1月13日、中濃消防本部において消防署の出初式ともいえる年頭の管理者点検が行われました。管理者(尾藤関市長)の点検に臨んだ署員らは、頭や肩に雪が積もろうとも身動き一

つすることなく、きびきびした行動で点検を受けました。あわせて署員で構成されるラッパ隊の演奏も行われました。私たちの安全を守ってくれる頼もしい消防署の皆さんに感謝と敬意を表します。

# あんな事、こんな事



## 盛業祈って トンテンカン

1月2日、関鍛冶伝承館の鍛錬場で新年恒例の古式日本刀鍛錬打ち初め式が行われました。多くの見学者に見守られる中、白装束を着た刀匠らが、今年の盛業と安全を願い、折り返し鍛錬を披露しました。場内で神事が行われた後、火床と呼ばれる炉に火が入られ、真っ赤に熱せられた玉鋼を鍛える槌の音が響き渡りました。また、館内では刀剣研磨外装技術仕事始め式も行われ、技能師らが卓越した技を披露しました。

## 新春 初競り

中濃公設地方卸売市場で1月5日、今年初めての競りが行われました。競り前には市場関係者ら約100人が集まって初市式を開き、買受人組合の野村和夫組合長の手締めで初競りを祝いました。初競りでは、競り人の威勢のよい掛け声と買受人が競り落とす掛け声が場内に響き渡り、旬の野菜や果物などが次々と競り落とされていきました。





## 人形が浮かび上がる幻想の世界へ

市内の女性でつくる読み聞かせボランティア「おはなし広場どんぐり」が1月7日、田原保育園で人形などを使った読み聞かせを行いました。ブラックライトシアター「さるとかに」では、暗闇の中で浮かび上がる人形に園児たちはくぎづけ。とても楽しい時間を過ごしました。どんぐりの読み聞かせは3月末まで、市内13の保育園や幼稚園で開催されます。

## 腕を振って 足を上げて

わかくさ・プラザで1月11日、「デューク更家式ウォーキング講座」が開催されました。デューク更家公認ウォーキングスタイリストの小野寺MARIKOさんが楽しいおしゃべりを交えながら指導。集まった約200人の参加者は、体を5つに分けてそれぞれの部位を鍛え、腰や肩、ひざの痛みを軽くし、内臓の動きを活発にする歩き方などを学びました。



## 迅速な救助を目指して

池尻の長良川河畔で1月5日、中濃消防組合潜水士隊の水難救助訓練が行われました。訓練は、釣り人がおぼれたという想定で、県内で初めて導入された「救難機動車」を使って行われました。この救難機動車は災害時の後方支援を担い、特に水難事故の現場へ向かう途中、車内で潜水服とポンペを装着することができ、現場での迅速な救助活動が期待できます。

## さらなる活躍を

関市出身でプロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの長谷部康平投手が1月4日、関市役所を訪れ、尾藤市長に新年のあいさつをしました。長谷部投手は「基礎体力をつけ、昨年の課題をクリアし、より多く勝利したい」と来季の抱負を語りました。尾藤市長は「健康に気をつけて、スタミナもつけて」と激励し、関の包丁をプレゼントしました。



## こぼれ話



先日、取材で文化会館で行われた成人式に行ってきました。関市では今年1,185人の方が成人になりました。会場の一つとなっている関市文化会館では、式典やアトラクションが開催され688人が参加されました。男性はスーツや袴、女性は振り袖の方が多く、華やかで、久しぶりに再会したであろう友人や恩師との会話が弾むなど大変にぎやかでした。皆さんカメラを向けると、すばらしい笑顔を返してくれました。そういえば私も

20年とちょっと前ですが(歳がバレますね)、着られないスーツや履ききれない革靴を履いて、すごく楽しみに参加しましたが、こんなにいきいきとして、元気だったかなあ、なんて思い出しながら、今では人間ドックの悲惨な結果を受けて節酒などしております…

なんとなく明るい話題が少ない今日この頃ですが、新成人の皆さんのこのパワーで関市、いや日本が元気になっていくことを期待して、私も負けぬようにがんばらねばと思う一日でした。